

まちの「今」をお届けします

小野田・楠企業団地へ進出 市とアルモウルドが 協定を締結

株式会社アルモウルドの小野田・楠企業団地への進出決定に伴い、8月4日、市役所で市との協定調印式が行われました。

調印式は小関県商工労働部長の立会いのもと行われ、藤田市長は「地域経済に大きな貢献をいただいている。進出を機にアルモウルドの更なる発展を願っている」とあいさつしました。また、杉野代表取締役社長は「『山陽小野田市にアルモウルドあり』と言ってもらえるように努力したい」と抱負を述べました。

同社は昭和42年に創業し、主に一般化学機器、高圧ガス特殊容器、鉄道車両用部品、半導体部品、自動車部品などの精密機械部品加工や高圧力容器等の設計製作などを行っています。

当団地への進出は、同社の更なる事業拡張を見据え、新工場を建設するもので、有帆工場、大塚工場に続き3工場目になります。操業開始は来年の3月予定で、当団地への企業進出は10社目です。

■株式会社アルモウルド
〈本 社〉宇部市際波 1770 番地の 1
〈代表者〉代表取締役社長 杉野 修二



左から藤田市長、小関浩幸県商工労働部長、杉野修二代表取締役社長、岸野昭二代表取締役会長



地球温暖化防止について考えよう！ 夏休みエコ工作体験

市地球温暖化対策地域協議会は、8月7日、温暖化問題を身近に感じてもらうため、日産化学株式会社小野田工場でエコ工作体験を開催しました。参加した20人の親子は、工場内を見学し温暖化問題に関する講座を受講した後、ペットボトルを使った風力発電機作りに挑戦。楽しみながら親子でエコについて考える機会となりました。



天然芝グラウンドで水遊び 夏を満喫！はだしの時間

おのサン サッカーパーク(市立サッカー交流公園)で8月8日、天然芝グラウンドをはだして駆け回り水遊びを楽しむイベント「はだしの時間」が開催され、小学3年生までの子どもとその保護者など多くの人に参加しました。水がまかれたブルーシートの上を滑ったり、水鉄砲を打ったりして夏の楽しい思い出を作りました。